

教職支援室便り

9 月 号
平成 26 年 9 月 12 日 (金)

文責：教職支援室 山本 寛 幸
☎ 0985-20-4808

教員採用第一次選考試験結果

第一次選考試験の結果をほとんどの自治体が発表しました。第一次選考試験の中心は、教科専門（英語）と教職・一般教養の筆記試験が中心です。しかも教科専門の点数配分が教職・一般教養の2倍強なので、英語力が高くないと第一次選考試験の合格は難しいです。

本学の現役・既卒者（既卒者については把握分のみ）の第一次選考試験の合格者数は、次の通りです。

● 17名（延べ22名）＝現役7名（延べ12名）＋既卒10名（延べ10名）

※現役受験者：11名

【中学校英語 14名】

宮崎県 2名（既卒 2名）、鹿児島県 2名（現役 1名、既卒 1名）、大分県 1名（既卒 1名）、福岡県 1名（現役 1名）、福岡市 1名（現役 1名）、山口県 1名（既卒 1名）、大阪府 1名（現役 1名）、静岡県 1名（現役 1名）、岐阜県 1名（現役 1名）、愛知県 1名（現役 1名）、神奈川県 2名（現役 2名）

【高校英語 5名】

大分県 1名（既卒 1名）、滋賀県 1名（既卒 1名）、静岡県 1名（既卒 1名）、神奈川県 2名（現役 1名、既卒 1名）

【中高英語 2名】

千葉県 2名（現役 2名）

【小学校英語 1名】

宮崎県 1名（既卒 1名）

第一次選考試験の倍率（英語）

第一次選考試験の各教科の受験者数、合格者数を公表している自治体の英語の倍率は下記の表の通りです。第一次合格者数は、採用予定者数の約2倍になっていますので、採用者数に対する全体倍率は、第一次倍率の約2倍になると考えて下さい。

表を見ると、長崎県（中英・高英）と福岡県（中英）の第一次倍率が下降傾向にあります。団塊世代の定年退職により、大量採用が続いていた神奈川県（中英・高英）、東京都（中高英）は、第一次倍率が上昇傾向にあります。

県名	校種	受験者数	一次合格者	一次倍率	採用予定数	前年一次倍率	前々年一次倍率
宮崎県	中	114	12	9.5	7	10.6	7.2
	高	54	8	6.8	2	8.0	7.0
鹿児島県	中	155	32	4.8	15	3.9	4.2
	高	48	8	6.0	若干名	5.3	7.1
長崎県	中	60	24	2.5	15	4.1	4.7
	高	36	12	3.0	6	3.3	3.8
佐賀県	中	53	19	2.8	未公表	3.1	3.5
	高	36	12	3.0	未公表	3.6	4.1
福岡県	中	158	69	2.3	35	2.6	3.5
	高	163	38	4.3	25	4.0	4.0
広島県	中	194	61	3.2	未公表	4.9	6.1
	高	99	22	4.5	未公表	3.9	4.5
神奈川県	中	246	107	2.3	未公表	2.2	1.8
	高	369	204	1.8	未公表	1.3	1.3
東京都	中高	1299	362	3.6	未公表	2.7	2.6

★ 卒業生の皆様へ！

卒業生の皆さんで、今年度、第一次選考試験に合格された方は、下記アドレス宛に御連絡をいただくと幸いです。教職支援室では、第一次選考試験に合格した卒業生の数を正確に把握したいと考えています。

山本研究室（教職支援室）のアドレスです。

yamamoto-h(アットマーク)miyazaki-mu.ac.jp

※メールを送信するときは、(アットマーク)を@に変えてください。

第二次選考試験に備えて！

「教職支援室便り 8月号」でもお知らせしましたが、第二次選考試験対策（個人面接、集団討論、模擬授業、場面指導等）を1ヶ月行ってきました。指導の様子を写真で紹介します。

《模擬授業》

第1日目	・各自やりやすい題材で10分間の模擬授業の実施
第2日目	・中英題材：be going to の導入段階を授業せよ。 ・高英題材：「She heard him to come to downstairs.」と生徒がノートに書いた。生徒に分かりやすく誤りに気付かせる授業をせよ。
第3日目	・中英題材：be going to の導入段階を授業せよ。 ・高英題材：「She heard him to come to downstairs.」と生徒がノートに書いた。生徒に分かりやすく誤りに気付かせる授業をせよ。 (注)・テンポのある授業 ・生徒を大いに称賛 ・板書の工夫 ・抑揚・間の取り方 など
第4日目	・中英題材：to 不定詞 副詞としての用法を使った文の指導において、導入段階の授業をせよ。 ・高英題材：自治体が示した題材等で授業をせよ。
第5日目	・中英題材：・There + be 動詞 + ~ を使った文の指導において、導入段階の授業をせよ。 ・高英題材：自治体が示した題材等で授業をせよ。

《場面指導》

生徒指導、悩み相談等を想定し、3分間の場面指導の練習風景です。



《集団討論》

集団の中の一教員としての意識を持ち、互いの意見を尊重しながらもリーダーシップを発揮し、結論を導き出せるよう練習しました。長崎県女子高生殺害事件に関して「命の尊さ」「豊かな心の育成」などを題材に、何度も集団討論の練習を行いました。

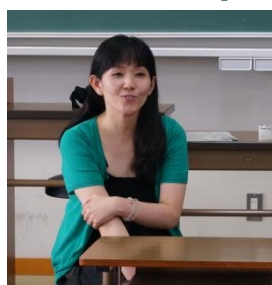


《個人面接》

506研究室において、「本県志望の理由は?」「教員希望の動機は?」「理想の教師像は?」などの私の質問に、緊張の中にも、繰り返し練習する中で、自信を持って受け答えができるようになりました。



第二次選考試験対策アドバイス：先輩教師から



えびの市立飯野中学校堀内奈津紀先生から今年も受験生に第二次選考試験対策についてアドバイスをいただきました。

自身の経験を踏まえ、受験生の質問に答えながら、「今までの練習を基に、自信を持って大きな声でハキハキと答える」「絶対、教師になるという強い思いを持って臨む」ことなどのアドバイスをいただきました。

また、お菓子もいただき、疲れを癒すこともできました。

宮崎西中学校のサマースクールに本学生40名参加!

宮崎西中学校では、夏休み期間中（7日間）にサマースクールという学習会を実施されています。宮崎西中生は、サマースクールを利用して夏休みの課題に取り組んだり、これまでに学んだ学習内容を復習したりするなど自主的な学習に取り組んでいます。毎年、このサマースクールに数多くの本学生が学校支援ボランティアとして参加しており、本年度も40名（4年生11名、3年生13名、2年生15名、科目等履修生1名）が参加しました。

生徒から「説明が分かりやすかった」「親しみやすく、質問しやすかった」等の感想が多く聞かれました。



現職教諭・臨時講師等の来訪者（8月）

8月も多くの本学卒業生が教職支援室を訪れ、近況等を語ってくれました。楽しいひと時を過ごすことができました。

山口枝里先生（H26.3 卒宮崎市在住）、山本義隆先生（H23.3 卒宮崎市在住）、上村かすみ先生（H26.3 卒鹿児島県在住）、長尾知春先生（H25.3 卒愛知県在住）、小玉直子先生（H10.3 卒宮崎市在住）、堀内奈津紀先生（H15.3 卒えびの市在住）、南聖一先生（H22.3 卒愛知県在住）、山元愛先生（H25.3 鹿児島県在住）、前田小幸先生（H26.3 卒宮崎市在住）、水野翔太先生（H26.3 卒愛知県在住）、吉住紀子先生（H26.3 卒福岡市在住）

